

# 太田研究室

## [東北復興のためのまちデザイン]

生産技術研究所

Urban Design for Reconstruction in Tohoku

都市再生学

工学研究科建築学専攻

## 東北復興のためのまちデザイン

Urban Design for Reconstruction in Tohoku

震災から3年経ち、各地で復興事業が本格化しつつある。本研究は生産技術研究所が提携を結んでいる福島県矢吹町の復興の事例を中心に復興まちづくりのあり方を考えるものである。具体的な計画概要は、奥州街道に沿って3つの重点整備地域を定め、町民にとって魅力に溢れた「まちなか居住」のプロトタイプを実現します。伝統的に続いてきた細長い区画割を考慮した、「奥行きのある」土地利用により計画に回遊性をもたらし、「歩いて楽しい矢吹のまち」の計画を促進します。

### 提案1：まちなか居住・景観計画を柱とする「創造的な復興まちづくり」

従来の都市マスタープランが目指してきた「住商分離」「車道整備優先」の方針を転換し、中心市街を「まちなか居住」ができる「歩いて楽しい矢吹のまち」と誘導することを提案します。また、奥州街道を中心に景観計画を定め、断片化したまち並みを新しい景観へと再生する「創造的な復興まちづくり」をまちぐるみで進める体勢づくりを提案します。

- ・奥州街道の景観計画  
道路断面再配分による歩行者優先  
羽鳥用水の活用とバリアフリー化
- ・木造による復興計画施設群  
県産材利用のプロトタイプを示す  
ロマンの館など既存建物との調和
- ・公園・神社・公営住宅を繋ぐ生活路  
回遊性の向上と「奥」の創出  
フリッジ型パーキングの計画配置
- ・半公共空間によるコミュニティ空間  
居住と商業が混じり合うまち

### 提案2：木材の積極的利用による新しい街並みの形成

日本で4番目に森林が多い福島県の地を活かし、下記の3つを骨子とする、現代木造建築による新しい景観計画を提案します。

- (1) 新築建築物における木造の採用の推進
- (2) ロマンの館など既存木造建築物の再生
- (3) 上記以外の建築への木造による部分修景

上記を念頭に、災害公営住宅・自治会館などの新築建築物は可能な限り木造の利用をはかり、また奥州街道に面する既存建築物の半公共空間には木造による部分修景(右図参考)をはかり、「新しいポキャブラリーによる木造の景観」の創成を矢吹町の皆さんに呼びかけます。



富山県・東岩瀬の木造による部分修景

### 提案3：街並みとコミュニティを形成する復興公営住宅用地の土地利用

復興公営住宅の平面を「街道沿いの商業施設/その奥の居住空間」という従来の土地利用を踏襲した計画とし、街道沿いにコミュニティ空間を作ることを提案します。

